



## ICT活用担当者連絡会

令和2年9月28日（月）に狭山中学校のPC教室において、令和2年度大阪狭山市ICT活用担当者連絡会を開催し、研修を実施しました。この研修は経済産業省の事業を活用し、今年度、全校に導入するデジタルドリルについて、各校の教員が使用方法を理解して、効果的に活用できるよう実施しました。

担当者だけでなく、管理職や学力向上担当者が参加する学校もありました。研修では、実際に導入するデジタルドリルを児童生徒の目線で体験したり、教員の目線で学習履歴の管理ツールを操作したりしました。

児童生徒としての体験場面では、「すごい!!」「こんなことができるの?」「低学年には難しい。」など、実際に自分が指導する場面を想定した発言が多く聞かれました。また、学習履歴の管理ツールを操作する場面では、「採点結果が反映されている!」「やっているかやっていないかが一目でわかるな。」などの声が聞かれました。

研修の最後に、市教委の担当者から「“自分はパソコンが苦手だからICTを活用した授業はできません。”という時代ではなくなってきた。1人1台のタブレットPCを使って授業するのは必須である。ただ、難しい専門的な活用を求めるのではなく、日常的に活用できる基本的なことを、すべての先生方に身に付けてもらいたい」という話がありました。



今後は、引き続き教員研修を実施するとともに、児童生徒は、まず今学校にあるPC教室のパソコンを使ってドリル教材を体験できるようにしていきます。次に、1人1台のタブレットPC端末が配置されたら、各教室での活用を進めていき、最終的には、家庭での活用を想定して準備を進めているところです。



## 感染対策を講じた校内研修

今年度の校内研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施しにくい状況が続いていました。しかし、2学期に入り、各校において感染対策を講じながら徐々に校内研修が実施されるようになってきました。

いくつかの学校の取組みを紹介します。

### 北小学校

令和2年9月16日に6年生国語で校内研修が実施されました。北小学校は今年度、国語の授業づくりモデル校として取組みを進めています。昨年度の「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践研究」を活かし、どの教員も実践できる国語の授業を学校全体で取り組んでいます。

当日は、一つの教室に教員が集まると密になるため、教室に入って観察する教員と隣の教室に中継された映像で観察する教員とに分かれて実施されました。授業後の研究協議は、机を離し、ソーシャルディスタンスを確保しながら実施しました。



### 南第三小学校

令和2年10月2日に4年生算数で校内研修が実施されました。この日の研修に先駆けて、算数の授業づくりについての校内研修を実施し、その内容に基づいた授業が実施され



ました。南第三小学校では、教職員の数が少ないことから、全教員が一つのクラスの授業を参観する形で実施されましたが、廊下側の窓をすべてはずし、廊下からも参観しやすい環境を整えて、教室内の密を避ける工夫をしていました。

その他の学校においても、校内で数名の教員が研究授業を行い、それを参観したり、授業を録画し、それを視聴したりすることで密を避けています。

今後も、感染対策を講じながら、各校の状況に応じた校内研修を実施し、質の高い授業が実現できるように努めていきます。